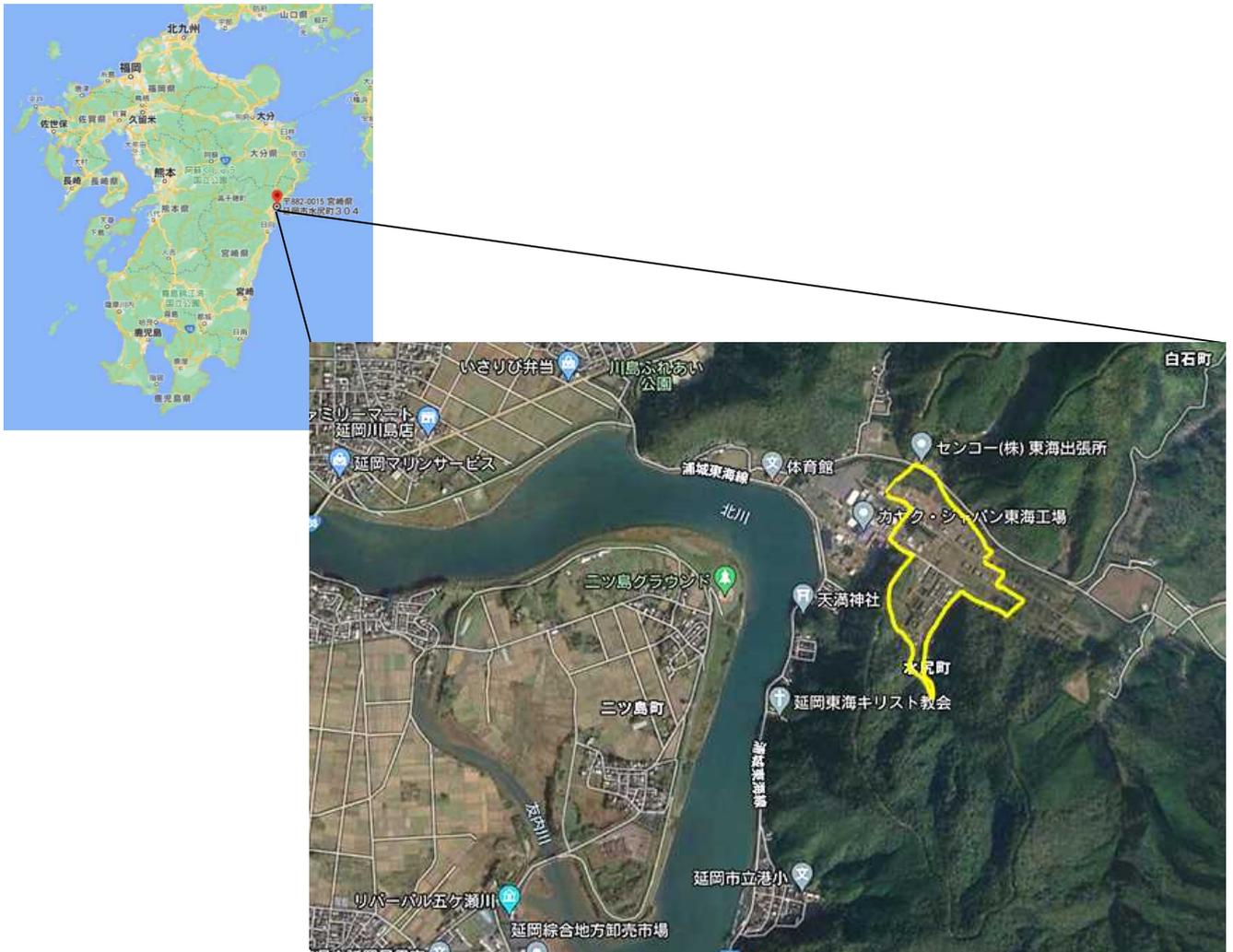


令和4年3月28日
産業保安グループ
鉦山・火薬類監理官付

火薬類製造所の事故について

1. 事故発生日時：令和4年3月1日（火）13時51分
2. 事故発生場所：宮崎県延岡市水尻町304
カヤク・ジャパン株式会社 東海（とうみ）工場



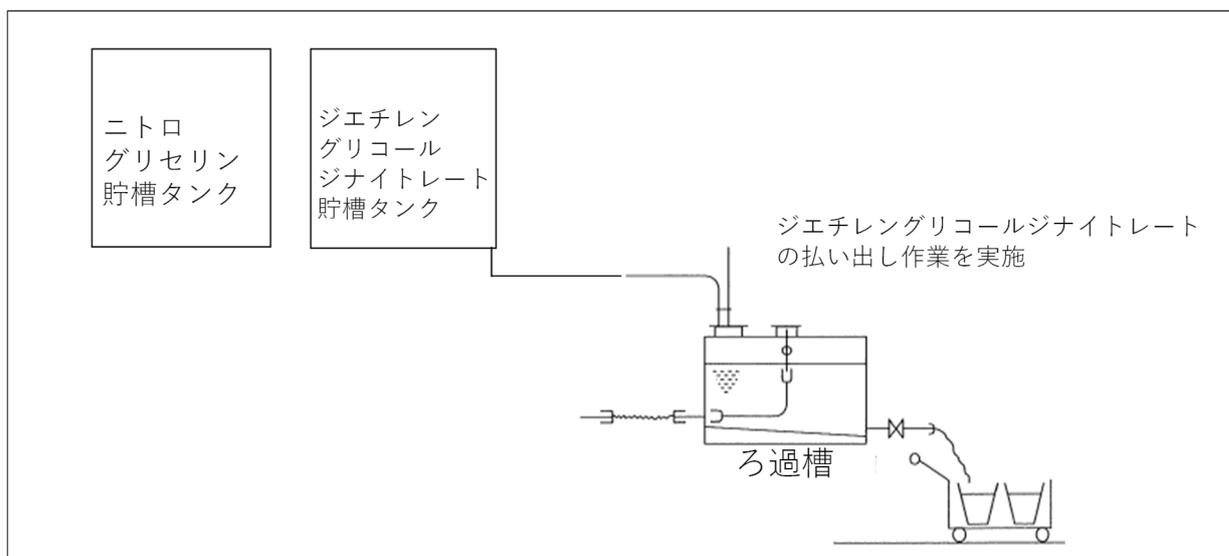
3. 事故の概要

東海工場の第1洗浄工室には、事故当日の朝（作業前）、3つの貯槽に計2,810kgの爆薬があり、No. 3貯槽のジエチレングリコールジナイトレートを次の工程に払い出す作業を3名で行っていた。アルミ容器（2個）に入れたジエチレングリコールジナイトレートを運搬車に載せて2名で移送し、1名は残って作業をしていたところ、爆発が発生した。

4. 火薬類の種類及び数量

貯槽	貯蔵していた火薬類	作業前	爆発発生時 (推定値)
No.1	ニトログリセリン	1,500kg	1,500kg
No.2	ニトログリセリン	410kg	410kg
No.3	ジエチレングリコールジナイトレート	900kg	16kg
合計		2,810kg	1,926kg

(第1洗浄工室での作業)



(カヤク・ジャパンより提供)

5. 被害の状況 (3月25日時点)

(1) 人的被害

死亡者1名、軽傷者5名 (うち3名は工場外の者)

(2) 物的被害

工場内 危険区域内のすべての危険工室 (第1洗浄工室除く全9工室)、一時置場及びその他関係施設に被害あり。

工場外 周辺の住宅等で窓・ガラス、ドア・雨戸等の破損、隣接する関係会社のボイラー室の柱のヒビ、貯水池ポンプ室建屋傾きなどの被害あり。

(第1洗浄工室のあった場所)



(写真：カヤク・ジャパンより提供)

6. 事故の原因と対策

調査中（製造業者において第三者を含む事故調査委員会を設置し調査開始）

7. 経済産業省の対応

- ・九州産業保安監督部の職員2名が事故現場を確認（3月2日）
- ・産業爆薬の製造業者に対し、同様の事故を未然に防ぐ観点から、火薬類取締法令の遵守及び各現場における作業手順や安全対策の再確認の徹底の注意喚起を実施。

以上